



発行：徳島県経営戦略部秘書課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 TEL088-621-2020 FAX088-621-2823
人口745,178人 男355,009人 女390,169人 世帯数308,069世帯 [2017年5月1日現在]

地域に寄り添うことで 質の高い医療サービスを。

徳島県立海部病院 病院長
坂東弘康さん



**平時も、発災時も
さらなる安心を**
南海トラフ巨大地震による津波被害への対策として進めていた高台移転を無事に終え、海部病院が「県南地域の皆さまの命を守る拠点」として新

**総合診療医の
育成道場として**
海部病院では年間約1000台もの救急車を受け入れており、救急医療でも地域に大きく貢献してきました。また、離島の出羽島診療所に定期

**地域間の連携を
さらに深めながら**
このような問題を解消するために10年ほど前から取り組んでいたのが「地域医療研究センター」による「海部・那賀モデル」

さらに深めながら
このような問題を解消するために10年ほど前から取り組んでいたのが「地域医療研究センター」による「海部・那賀モデル」

よる救急医療の強化を実現するとともに、発災時には自衛隊や海上保安庁のヘリポートとして活用することになります。さらに、立体駐車場と病院をつなぐ連絡通路によって、負傷者や支那物資などを院内へ直接移送することが可能になりました。

的に医師を派遣するなど、へき地医療にも積極的に関わっています。今後も地域に寄り添った医療を続けていく上で、課題の一つが医師不足の解消です。医師の偏在は全国的な問題となっており、多忙による医療の質の低下など負のスパイラルを招く危険があります。

院では研修室や研修医用の宿泊室などを設置。今までは以上に、安心して地域医療を学べる環境を整えました。地域医療を志す「総合診療医の育成道場」として、ますます大きな役割を果たせると確信しています。

て診療支援を実施してきました。こうした連携体制をさらに強化するため、昨年には那賀町の4町と医療提供体制「海部・那賀モデル」推進協定を締結し、医療従事者の相互交流やICTネットワークの構築など

を図っているところです。今後は県立中央病院や県立三好病院との連携もさらに深め、県民医療最後の砦としての使命を果たしていかねばなりません。地域に寄り添い、信頼される病院」として、全職員が一丸となって取り組んでまいります。

「新・県立海部病院」開院

命を守り、安心を支える 県南の先端災害医療拠点へ。

急性期医療や救急医療、へき地医療などを通じ、県南地域の暮らしを支えてきた「海部病院」の高台移転工事が完了し、5月8日に新病院として開院しました。鉄筋コンクリート6階建ての建物には、地震に強い免震構造を採用。ツインヘリポートや太陽光発電設備を備えるなど、先端災害医療拠点としての機能を大幅に強化しています。「県民医療の最後の砦」としての役割を果たせるよう、より質の高い医療サービスの提供に取り組んでまいります。



●新病院は、鉄筋コンクリート造6階建ての免震構造を採用しています。



●南海トラフ巨大地震による大津波に備え、海拔15.6mの高台に移転。

「先端災害医療拠点」としての役割

南海トラフ巨大地震を迎え撃つ「前線基地」
「平常時」と「災害時」の双方でシームレスな医療を提供



●病院棟と立体駐車場屋上の2箇所にヘリポートを設置。 ●災害時には、大型ヘリコプターにより大規模搬送が可能。



●海部郡で唯一のお産ができる病院として、最新医療機器を備えた分娩室を設置。 ●1床あたりの面積は約1.5倍となり、個室も大幅に増加し、快適な療養環境を提供。 ●「冠動脈造影検査」が可能となるCTなどの専門医療機器を導入。

海部・那賀地域における 基幹病院としての役割

地域や病院の連携により
質の高い医療サービスを提供

■海部・那賀モデル推進協議会

近隣の町立病院と連携し、診療支援を行うなど、海部・那賀地域における診療体制の充実を図っています。



■医療提供体制「海部・那賀モデル」推進協定

質の高い医療体制の構築を図るため、平成28年12月には県と関係4町による医療提供体制「海部・那賀モデル」推進協定を締結。医療従事者の相互交流やICTネットワークの構築、診療材料等の共同調達などに取り組んでいます。



●エントランスホールの陶板「地域医療の輪」。地域医療の連携や広がり表現しています。



●「海部・那賀モデル」の協定締結式。地域間のさらなる連携強化を図ります。

総合診療医の育成道場 「地域医療研究センター」

地域密着型の研究拠点として

新病院3階には、徳島県と徳島大学が共同で地域医療に貢献できる総合的な医療人材の育成等を目的に開設した「地域医療研究センター」を設置しました。



●研修医や医学生の研究拠点となっています。 ●大人数で参加できる研修室や談話コーナーを設置。より学びやすい環境になりました。 ●宿泊施設、シャワー室を完備しています。

■お問い合わせ先 徳島県立海部病院 電話0884-72-1166 FAX0884-72-3521

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

案内神社の大クス

●あわっ子文化大使リポーター
阿波市立吉野中学校 近藤 妃奈乃

私が住んでいる阿波市吉野町は、案内神社が有名です。全国的にも珍しい、太刀と獅子と一緒に舞う案内神社の獅子舞はよく知られていますが、実はそれだけではないのです。もう一つの文化財



が500年にもなりますが、みなさんは、この大クスの大きさが想像できますか。実際に、自分の目で見てみると、神社内をどっしりと迫力のあるクスノキが覆っていました。大きな体を



案内神社



案内神社の大クス

支える根元は、とても力強いものがあります。また、大クスは約500年間にわたり、時代によって変わりゆく町の様子を見守っているか

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
●教育文化課
TEL088-621-3055 FAX088-621-3056

のようでした。かつては、旧暦の7月18日に、この大クスの周りで、人々が盆踊りを夜更けまで踊って楽しんでた、というエピソードもあります。ぜひ、一度見に来てはいかがでしょうか。

野菜料理を+1 プラス ONE

野菜摂取量UPをめざして

春巻き風サラダ巻き

★野菜使用量135g エネルギー51kcal(1人分)

- ①にんじんを千切りに、だいごんは太めのものをうすく輪切りにする。
- ②ミニトマト以外を、柔らかくしんなりするまで茹でる。
- ③だいごんを春巻きがわりに、にんじんとミニトマトを包み、ほうれんそうで結ぶ。
- ④ポン酢をかけてできあがり。



【材料(1人分)】 ●にんじん 75g ●だいごん 30g ●ミニトマト 30g(2~3個) ●ほうれんそう 3枚 ●ポン酢 適量
[レシピ提供]平成28年度「野菜たっぷり料理レシピコンクール」応募作品より